縄文シティサミットinとうや湖

■と　き　7月3日(金)13:15～16:00(13時開場)
■ところ　洞爺湖文化センター(入場無料)

▼オープニング　洞爺湖音頭･フラワービーンズ
◆「北海道の縄文遺跡　世界文化遺産への取組み」
（伊達市･森町･函館市･洞爺湖町）
◆「地球への祈りと縄文文化」
講師　国際日本文化研究センター
教授　安田喜憲氏

■と　き　7月4日(土) 9:30～12:30(９時開場)
■ところ　洞爺湖文化センター(入場無料)

▼オープニング　聖龍太鼓
◆記念対談(テーマ:人と自然との共生
縄文人の精神文化に学ぶ)
小林達雄氏(国學院大學名誉教授)
本田優子氏(札幌大学教授)
◆サミット
コーディネーター　小林達雄氏
パネリスト　縄文都市連絡協議会加盟都市首長

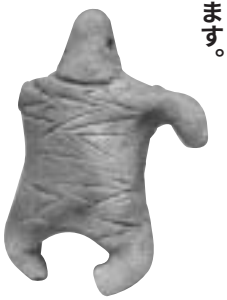
縄文サミット特別展「縄文人の心」　6月27日～7月5日　於入江・貝塚館

主催　縄文都市連絡協議会
縄文シティサミットinとうや湖実行委員会
(事務局☎74－3010)

縄文時代とは

縄文時代は、今から約1万2000年前から約2000年前まで、1万年という長い間続き、北海道から沖縄まで、日本列島のすみずみに広がりました。

森や海などの豊かな自然に囲まれながら、その資源を利用するためのさまざまな道具をつくり出しました。

また、定住化が進み、「ムラ」がつくられ、祭祀などもくり返し行われるようになりました。「貝塚」も自然の恵みに感謝するための「送り」の場だったのかもしれません。

縄文文化は、自然との共生により生みだされた高い精神性にこそ本質があり、それは日本文化の形成にも大きく関わっていると考えられています。